

ふれあい情報誌

# みなみの

Hospital Medicine Magazine Minamino

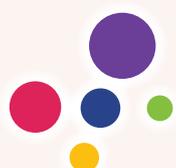
2022

37号

2022.4発行



- 医師のご紹介
- コロナ禍での面会対応 ～療養病棟～
- 褥瘡のケアについて
- がん患者さんへのリハビリテーションの取り組み
- 日本医療機能評価機構 慢性期病院認定について
- 居宅介護支援事業所コアラ休止のお知らせ



医療法人仁寿会

南野病院



基本理念

患者様に安全と安心と満足を提供します。

患者様の権利

● 選べる権利 ● 知る権利 ● 参加する権利 ● 自ら決める権利 ● プライバシーに関する権利



大村市出身  
令和3年9月より、南野病院に勤務。

### 患者様へのメッセージ

はじめまして。この度お世話になることとなりました。主に循環器（以前は心臓血管外科）疾患ですが、総合診療を担当いたします。

約15年前体調不良にて27年続けた心臓血管外科医の道半ばで断念し、一般診療（主に老人診療）を行うこと

となり、当初はあまりにも違う環境に戸惑い自分の無力さを実感する日々が続きました。2,3年後には徐々に体調も回復しましたが、このまま先に進む道を選択し現在に至っております。診療内容は主に老人の皮膚病、膝や腰痛、褥瘡、脳梗塞、認知症や外傷治療など多岐にわたりますによるずや的診療でした。

先日残念ながら急逝された園田先生とは長年にわたり、大村市立心臓血管病センター発足時から、循環器内科、外科の立場でコメディカルを含めまさにワンチームとして日夜頑張っておりました。南野病院で今まで頑張っておられた園田先生の後任としては重責ですが、少しでもお役にたてるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## コロナ禍での面会対応

3階病棟看護師

コロナ禍において病院全体で面会制限を行う中、入院患者さんの様子をご家族に伝えたいという思いから、ビデオ面会を実施しました。院内のタブレットを使用したビデオ面会と、遠方のご家族についてはスマートフォンからの面会を行いました。

洗濯物の受け渡しの際には、患者さんの様子をお話しし、患者さんをご家族の会えない不安を和らげることができるよう努めています。

当院では長崎県の新型コロナ感染段階レベルに応じた感染防止対策をとっており、院内への立ち入りや患者さんとの面会方法も、感染段階レベルに応じて変えています。



## 褥瘡のケアについて

3階病棟看護師

褥瘡は床ずれと言われ「床ずれができるとお迎えが近い」など状態が悪いことの指標になる現象でした。しかし昨今、褥瘡は予防できること、治癒させることができるようになりました。

褥瘡は身体に掛かる外力、ズレや圧迫によって組織が障害された状態です。

褥瘡を作らないためには、体位変換（同じ部位に負荷がかからないようにする）を定期的に行います。また、スキンケアも褥瘡予防に大事なケアの一つです。皮膚は表皮、真皮、皮下組織から構成されていて、外界から身体を保護するバリア機能を持っています。

表皮の保湿には皮脂、セラミド、天然保湿因子が重要な働きをしており、皮脂膜によって保たれているバリア機能が破綻すると病原性細菌の増殖が促され感染リスクが高まります。感染予防の為にドライスキン（乾燥皮膚）や浸軟（皮膚が水気を帯びる）表皮の欠損を予防するケアが重要になります。



## がん患者さんへのリハビリテーションの取り組み

理学療法士

わが国のがん発生率は年々上昇傾向にあります。一方で、がんの生存率も上昇しており、がん患者数は今後も増加していくといわれています。

「がん＝痛い、苦しい、死を待つばかり」というイメージを持った人も多いと思います。しかし、がんや治療に伴う苦痛を緩和する技術も進歩しています。がんになっても、苦痛な症状を出来る限り緩和しながら、穏やかな生活を送ることができるようになってきているのです。そのため現在は「がんと共に生きる」という考え方に変化してきています。

がんによる直接的な影響や手術療法・化学療法・放射線療法等の治療による影響から、様々な障害がでてきます。それは身体面への障害だけでなく、精神面への障害など多岐にわたり、本人だけでなく、ご家族への負担も大きいです。

当院では、がん患者様やご家族に対して多職種がチームでケアを行っており、私達リハビリスタッフもチームの一員として活動しています。

がんによる様々な障害を総合的にケアするためには、がんに対する専門的な知識・ケアの技術を習得する必要があります。

そのなかで、リハビリ領域の知識と技術のステップアップを支援することを目的として『がんのリハビリテーション研修』が全国的に開催されています。

当院ではこの研修を修了したリハビリスタッフが、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士4名在籍しており専門的な知識をもって、がん患者さんへリハビリを提供しています。



## 日本医療機能評価機構 慢性期病院認定について

当院は2008年に最初の認定を受け、直近では2018年に認定更新をいただきました。慢性期病院の評価項目は90項目あり、全てB（一定の水準に達している）以上の評価判定結果となりました。A（適切に行われている）は63項目で、特に次の項目はS（秀でている）と高い評価をいただきました。

### 2.2.20 身体抑制を回避・軽減するための努力を行っている

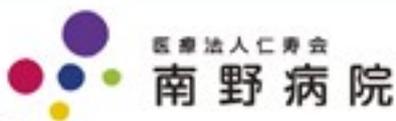
貴院の方針として身体抑制は行わないことを明確にされており、実際に身体抑制の実績も0件である。身体抑制の方針・手順は作成され、離床センサーの使用や頻回な訪室により、抑制を行うことなく対応できている。離床センサーについては、家族に説明のうえで同意を得て使用している。また、委員会にて離床センサー使用の解除に向けた検討を行っている。身体抑制を行わない方針を実現しており高く評価できる。



当院は令和4年11月に次回の病院機能評価受審を予定しています。日頃から業務の見直しを行って、患者さんに、より安全、安心で、満足いただけるような医療サービスを提供できるように努めてまいります。

## 居宅介護支援事業所コアラ休止のお知らせ

居宅介護支援事業所コアラは、諸般の事情により、令和4年3月31日をもって一時休止とさせていただきます。再開時にはお知らせいたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。



〒856-0626  
大村市栗三越町33番地 TEL.0957-54-8800 (代) FAX.0957-54-8755  
療養病棟/回復期リハビリテーション病棟/緩和ケア病棟  
健診部TEL.0957-54-5551 FAX.0957-54-8755  
通所リハビリテーション/訪問リハビリテーションゆ〜かり  
有料老人ホームほほえみ TEL.0957-47-8601 FAX.0957-47-8632  
デイサービス ゆ〜かり TEL.0957-47-8606 FAX.0957-47-8607  
ヘルパーST オリーブ TEL.0957-47-8857 FAX.0957-47-8858  
居宅介護支援事業所コアラ TEL.0957-53-3731 FAX.0957-53-3732  
みなみの保育園 TEL.0957-56-8812 FAX.0957-56-8821

診療科目 ●内科 ●消化器科 ●放射線科 ●泌尿器科 ●リハビリテーション科  
受付時間 月曜～土曜8:30～12:00



ホームページ <https://www.minamino-hosp.jp/index.html>



**駐車のご案内**  
交通のご案内  
●乗営バスターミナルより徒歩2分  
●大村駅から徒歩3分